

第4章 計画の推進に向けて



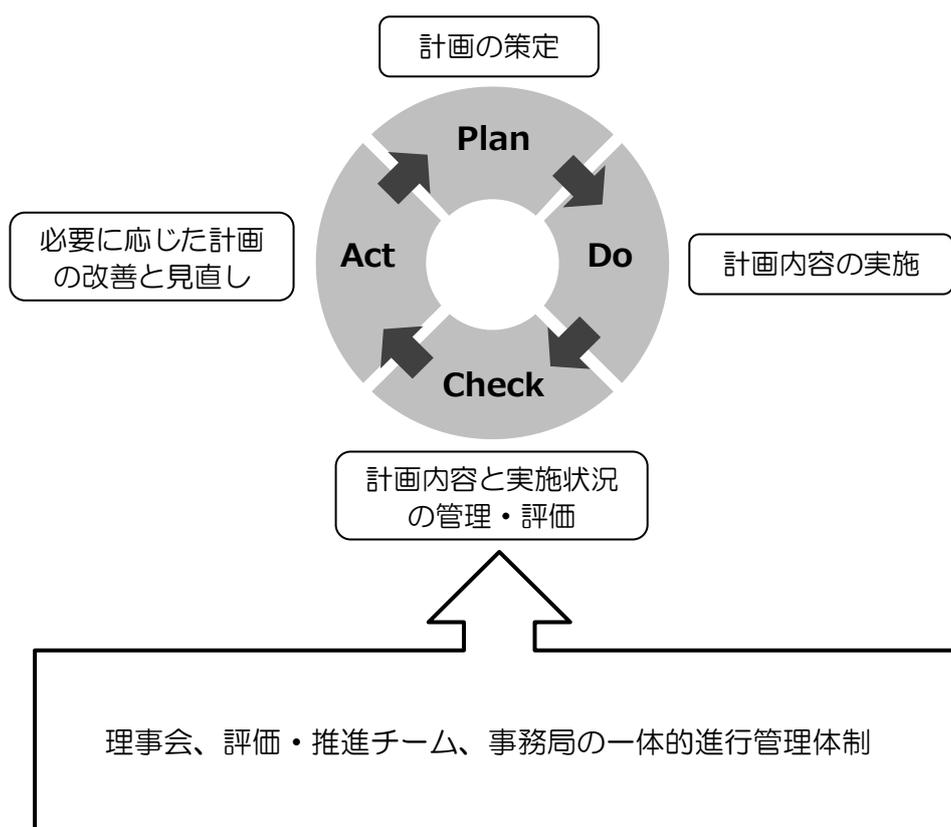
1 推進体制の確立

基本理念を実現するために、住民・関係機関等、区、社協が連携・協働して、地域福祉推進に向けた取り組みをしていきます。

具体的には、計画を実行するために、これまでの評価・検討チームを評価・推進チームとして理事会のもとに設置し、計画の進捗状況の管理と評価を行い、計画を社協運営・経営に反映させることにより、社協における理事会、評価・推進チーム、事務局の一体的進行管理体制の確立と実施をめざします。

このように、本計画は「PDCAサイクル」によって、業務を進めていく上で、計画を立て、それを実行し、結果を評価した後、改善して次のステップへとつなげていきます。

なお、「PDCAサイクル」とは、様々な分野・領域における品質管理や業務改善などに広く活用されているマネジメント手法で、「計画（Plan）」、「実行（Do）」、「点検・評価（Check）」、「改善・見直し（Act）」のプロセスを順に実施していくものです。



2 住民、関係機関等、区、社協に求められる役割

住民はサービスの利用者としてだけでなく、身近な地域の課題をいち早く発見したり、福祉サービスの担い手として主体的に福祉活動に参加するなど、豊かで充実した地域社会の実現に向けて努力することが期待されています。

地域における関係機関等には、それぞれの活動を通して地域の課題を発見・共有する、身近な地域で解決に向けた活動を実践・推進する、地域の福祉活動と連携・協働する、地域の福祉活動を支援するなどの役割が期待されています。

区は、住民の福祉活動では解決が難しい地域の課題について、公的サービスの充実などを通して解決に取り組む役割が求められます。また、地域福祉の推進のための活動を支援することも重要な役割です。

社協は、地域福祉活動を活性化するために様々な支援を展開する役割とともに、住民・関係機関等、区との連携・協働を推進する役割を担います。また、住民の声や地域課題を把握し、住民の福祉活動では解決できない課題を区に伝えたり、区をはじめとした公的サービスでは対応できない課題に対して住民・関係機関等、区と連携・協働して、解決のための活動を実践する役割も担っています。

3 連携と協働による地域福祉の推進

住民、関係機関等、区、社協は、それぞれの役割を自覚し、解決に向けた取り組みを行うことが重要です。

地域の課題は複雑で多様化していることなどから、一人で、あるいは住民だけで、あるいは関係する機関だけで解決することが困難な場合が多々あります。それぞれが連携・協働という視点を忘れずに地域福祉の推進に取り組むことが求められます。